

		科目コード	301
科目名	臨床検査技術学特論 (Advanced Study in Technology of Laboratory Medicine)	選択区分	選択
単位数 (時間)	2 単位 (30時間)	履修時期	1 後
担当者	佐田 榮司・玉内 秀一・北尾 孝司・高田 智世		
授業概要	臨床検査結果の臨床診断における捉え方や様々な分野の新たな検査技術について教授する。		
授業目標	本特論では、腫瘍・感染症・免疫疾患・遺伝病等に対して科学的に検証された新規検査技術の原理を理解するとともに、その技術の問題点を抽出・解決できるための考察能力を身につける。医療現場において、最新の知識に基づいたより適切で詳細な検査情報等を提供できるようになる。		

授業内容とスケジュール

回	項目	内 容	担当者
1	検査学概説	患者病態の捉え方、着目点と臨床検査	佐田榮司
2	臨床検査結果の解析法	臨床診断の考え方とデータの解析法	
3	検査データ間の関連性	検査データの連携、統合	
4	臨床検査の将来展望	臨床検査技術における今後の展望	
5	免疫学検査 (総説)	(1) 新しい免疫学の概念とその変遷	玉内秀一
6	免疫学検査 (感染症)	(2) 感染症診断における結果と意義	
7	免疫学検査 (アレルギー疾患)	(3) アレルギー診断における結果と意義	
8	免疫学検査 (悪性腫瘍)	(4) 悪性腫瘍診断における結果と意義	
9	遺伝子検査 (総説)	(1) 分子診断学における意義	高田智世
10	遺伝子検査 (感染症)	(2) 感染症の診断における検査技術と特徴	
11	遺伝子検査 (悪性腫瘍)	(3) 悪性腫瘍の診断における検査技術と特徴	
12	遺伝子検査 (遺伝病)	遺伝病およびオーダーメイド医療における遺伝子検査技術と特徴	
13	微生物検査 (迅速検査)	(1) 病原微生物の迅速検査技術と特徴	北尾孝司
14	微生物検査 (薬剤耐性菌)	(2) 薬剤耐性菌の種類と耐性機構	
15	微生物検査 (薬剤耐性遺伝子)	(3) 遺伝子検査技術を用いた薬剤耐性菌検出方法	
成績評価方法		レポート (佐田分 25%、玉内分 25%、高田分 25%、北尾分 25%) の割合で評価する。	
必携あるいは参考図書・文献		参考図書 (佐田・高田担当分) R. A. McPherson, M. R. Pincus 著 Henry's Clinical Diagnosis and Management by Laboratory Methods Edition 22 (Saunders) (玉内担当分) 多田富雄監修、萩原清文著: 好きになる免疫学、講談社 (北尾担当分) 化学療法の領域 2015 年増刊号「感染症診断の新たなツール」医薬ジャーナル社 その他、適宜、論文及びプリントを配付する。	
備考			